

地域を
変える
チカラに

地域おこし
協力隊

活動報告



加藤 美和子さん



梶原 和貴さん

夏を思わせる陽気が続いています。GWは、久々に関西に住む祖父母のもとに行ってまいりました。祖母が鹿児島のお茶を飲みたい、といいますので新茶を買い求めたところ、非常に喜んでくれました。鹿児島、そして肝付町には豊かな食の恵みがありますね。

先日は、お茶に合いそうな「けせん団子」を勉強する機会があり、「きもつき情報局」で参加させていただきました。けせん団子とは、小豆団子をけせんの葉（ニッケとも呼ばれる）で包んだ郷土のお菓子です。甘くておいしく、家庭で作られてきた身近なお菓子ですが、若い世代で知らない人が増えているようです。肝付町にもけせん団子を取り扱っているお店が数店ありますので、お店ごとの味、食感の違いなど、食べ比べてみても楽しいかもしれません。

さて、6月13日は、肝付町から打ち上げられた「小惑星探査機はやぶさ」が7年かけて地球に帰還した「はやぶさの日」です。今年も内之浦のJAXA宇宙科学資料館前でイベントがおこなわれますので、ふるってご参加ください。奇しくも6月は、はやぶさの後継機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウに接近します。はやぶさ2から届くリュウグウの姿が楽しみです。

時間が過ぎるのが早いんですね、地域おこし協力隊となって、もう5か月過ぎました。現在、NPO法人陸の宝島・岸良さんと一緒に活動しています。

これまでの活動内容を紹介します。まず、2/17に旧岸良小学校の体育館を利用し、でで感謝祭（イベント）を行いました。ででとは岸良地域の方言で辺塚だいだいのこといいます。でで感謝祭では辺塚だいだいの試食品（ゼリー、ドリンク、みそ、はちみつ漬け）、カレーやサザエ等を提供したり、教授・名誉教授・製茶アドバイザー4名による講演、岸良小学生による演劇（でで太郎）、アフリカの楽器・親指ピアノと南九州の板三味線・ゴッタン演奏家、バンドや三味線等、いろんな方々の協力のおかげで、進めることができました。来場者数も多く、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、4/19に岸良小中一貫校の校庭にある畑の隅に、辺塚だいだい（1年苗木）を3本ほど児童全員で植えました。一生懸命植樹している児童の姿を見て、この辺塚だいだいも児童の成長とともに元気よく成長してほしいなあと思います。

他にも活動していますので、是非、岸良へ遊びに来てください。